

平成23年度

# 消費生活相談の概要

岡山県消費生活センターに寄せられた平成23年度の相談件数は8,485件です。昨年度に比べると7.8%減少しています。

しかし、相談内容はますます深刻化しており安心は禁物です。

相談件数の総数が減少している中で「預貯金・証券等」の社債や未公開株に関する相談は昨年度に引き続き増加しています。また、「ファンド型投資商品」に関しては、昨年度に比べ136.4%の大幅な増加となっています。これらの相談については、60歳以上が全体の約4分の3を占めています。

年代別では、70歳以上が最も多く、次いで30歳代、40歳代が多くなっています。

## 1 相談件数及び内容

順位	相談内容	件数			備考
		H23年度	H22年度	H21年度	
1	放送・コンテンツ等	1,889	1,954	1,852	インターネット有料サイト(アダルト情報、出会い系等)の利用など
	うち不当(架空)請求	1,487	1,542	1,525	
2	レンタル・リース・賃借	408	503	527	賃貸アパート、借家、レンタルビデオなど
3	役務その他	315	338	330	結婚相手紹介・廃品回収サービスなど
4	融資サービス	285	512	614	消費者金融、ヤミ金、住宅ローンなど
	うち不当(架空)請求	36	35	62	
5	商品一般	273	368	811	商品を特定できない不当(架空)請求
	うち不当(架空)請求	24	93	474	
6	預貯金・証券等	270	249	189	未公開株、社債、投資信託など
7	工事・建築・加工	262	288	317	新築工事、増改築工事、塗装工事など
8	自動車	199	225	240	自動車、オートバイ、自動車部品など
9	ファンド型投資商品	182	77	34	石炭採掘・水源地開発事業への投資など
10	インターネット通信サービス	169	198	125	光回線、ADSLなど
	その他	4,233	4,488	5,229	
	不当(架空)請求	1,547	1,670	2,061	—
	不当(架空)請求以外	6,938	7,530	8,207	—
	合計	8,485	9,200	10,268	—

備考：注 順位は平成23年度のもの